

## 第二回大河原地区地域づくり懇談会の意見概要（回答も含む）

- ・ 財政の厳しい中で、住民の安全と利便性を図るためには車道と歩道の区別だと思えます。具体的には白石柴田線北白川駅のところの踏切です。安全を確保する必要箇所として重点的に整備を進める必要があるのではないのでしょうか。

（回答）

必要性は十分認識しております。用地等の課題を整理次第、整備を推進していきたいと考えております。

- ・ 下水道で人口密度が小さく効率の悪いところは整備が進まない（取り残される）現状を踏まえ、整備手法を検討する必要があるのではないのでしょうか。

（回答）

市町村担当者並びに市民の皆様の意見を伺いながら、少ない投資額で最大の効率を上げられる方法を考えていきたいと思えます。

- ・ 角田市の下水道普及率は40%と隣接市町に比べると立ち後れている。市民の生活環境を改善するため、普及率を上げる方策を考えてほしい。

（回答）

大河原土木事務所管内の下水道普及率は72%で、県の平均ぐらいです。県は処理場と処理場までの幹線管路を管理しております。普及率については、角田市さんの整備次第だと思えます。

- ・ 歩行者、自転車に関係する生活道路に関しては徹底的に、整備してほしいが、標識や路面表示も積極的に考えてほしい。

（回答）

予算も関連しますので、順次進めて参りたいと考えております。

- ・ 大分前に整備された歩道の舗装がかなり痛んできて、凹凸の激しいところは、自転車が車道を通行してる光景を目にします。適切な管理をお願いしたい。

（回答）

適切な管理に努めて参ります。

- ・ （主）白石上山線蔵王町曲竹地区で一部水路に蓋がなく、柵もないことから、追突事故に起因し水路に落ち死亡事故が発生した。そのような場所はガードレール等を整備してほしい。

（回答）

地元区長、蔵王町役場総務課長及び白石警察署交通課と現地立会時に要望を受けております。来年度予算で、整備する予定です。

- ・これから増加が予想される電動カート（高齢者が使用している）のルールづくり及び指導をお願いしたい。

（回答）

警察署に確認したいと思います。 → **電動車いす（時速最大6km）免許必要なし**

- ・（国）113号内川橋前後がS字カーブで見通しが悪く交通事故が発生している。標識等の設置とかで、運転者に注意喚起を促してほしい。

（回答）

検討させていただきます。

- ・（国）113号七ヶ宿ダム付近橋梁で、釣り人たちが危ないので、高欄等の管理（破損修繕、塗装）を適切にお願いしたい。

（回答）

高欄の破損については、早急に確認して対応します。塗装については、順次整備したいと考えております。

- ・（国）113号関地区、湯原地区の歩道整備を早急をお願いしたい。

（回答）

出来るだけ早く対応していきたいと思います。

- ・（一）蔵王大河原線大河原中学校付近は道路幅員が狭く、車がきた場合、子供たちが立ち止まっていなければならない状態です。子供たちが安心して通学できる安全施設整備をお願いしたい。

（回答）

（主）巨理大河原川崎線末広橋架換も含め、大河原町さんと話し合いを始めた段階です。

- ・（主）巨理大河原川崎線末広橋が大分老朽化しているので、高欄の修繕及び橋面舗装をお願いしたい。

（回答）

今年度対応する予定になっております。

- ・交通量も多く危険なので、（主）巨理大河原川崎線寄井地区、万崎橋（周辺含む）地区の歩道整備を早急をお願いしたい（必要、危険な箇所から整備を）。

（回答）

順次、整備していく予定です。

- ・（主）仙台村田線菅生第四小学校付近で急カーブのため、見通しが悪く危険なので、地域協働事業等での局部的な改良をお願いしたい。

（回答）

（主）仙台村田線は改良済となっております。まだまだ、改良されていない道路が沢山ありますので、ご猶予願います。

- ・（主）蔵王川崎線川崎小学校付近で、子供たちの通学路で一番危険な箇所には歩道がない状態です。是非現場調査して、要望を解って頂きたい（必要、危険な箇所から整備を）。

（回答）

現場を確認の上、対応したいと思います。

- ・（主）丸森霊山線筆甫地区の道路改良事業の継続について、お願いしたい。

（回答）

順次、整備していく予定です。

- ・既存施設の有効利用等、土木事務所と市町と十分な連携を図り、適切な管理をお願いしたい。

（回答）

これからも市町と十分な連携を図り、工夫した対応をしたいと考えております。

- ・余りにも仙台を中心として資本投下が進んでいるのではないかと、地域の安全・安心を本当に十分に考えて頂きたい（均衡ある県土の発展を）。

（回答）

必要最低限の安全・安心は、知恵を絞りながら対応したいと考えております。

- ・県の「みやぎの将来ビジョン」策定に併せて、市町の長期計画も見直す必要があるのでは。

（回答）

市町の計画までは把握しておりません。

- ・宮城県沖地震発生時の土木事務所と管内市町との連携等について考えを伺いたい。

（回答）

年1回基礎的な訓練（防災無線、防災FAX、メール）を実施しておりますが、連携は絶対必要なものですから、担当課長会議等でネットワーク造りについて検討して参りたいと考えております。